

T25マニュアル

イノチオプラントケア株式会社

1.機体を展開する

畳まれているアームを全て展開(M3,M4→M1,M2)し、根本のアームロックを閉め、プロペラを広げる。

※プロペラを畳んだ状態でモーターを回転させると遠心力でモーターが振動し、故障の原因となる。



アームロック

2.送信機の準備をする

右写真の電源ボタンを一回押した後、もう一度長押しして起動する。
(電源を切る場合も同様)

起動に成功すると音が鳴る。

しばらく操作せずにいると、電力節約のため画面がブラックアウトする。再表示させるには電源ボタンを短押しする。



電源ボタン

2.送信機の準備をする

送信機が起動すると下部のランプが点灯する。

右側4つ→バッテリー残量インジケータ
左側→ステータスLED(リンクの状態や操作スティック、バッテリー残量低下に関する警告を表示)

赤点灯：機体と未接続

緑点灯：機体と接続済み

黄色点滅：送信機のバッテリー残量が少ない

水色点滅：操作スティックが中央位置にない



2.送信機の準備をする

送信機のアンテナを立てて操作中にアンテナの面が機体に向くようにする。
(信号は先端ではなく面の部分から発信される)



2.送信機の準備をする

送信機右上のフライトモードスイッチは「N」に合わせておく

N:Nモード(ノーマル)

S:Sモード(Aモードにマッピング、姿勢)

F:Fモード(ノーマル)



4. 機体の状態を確認する

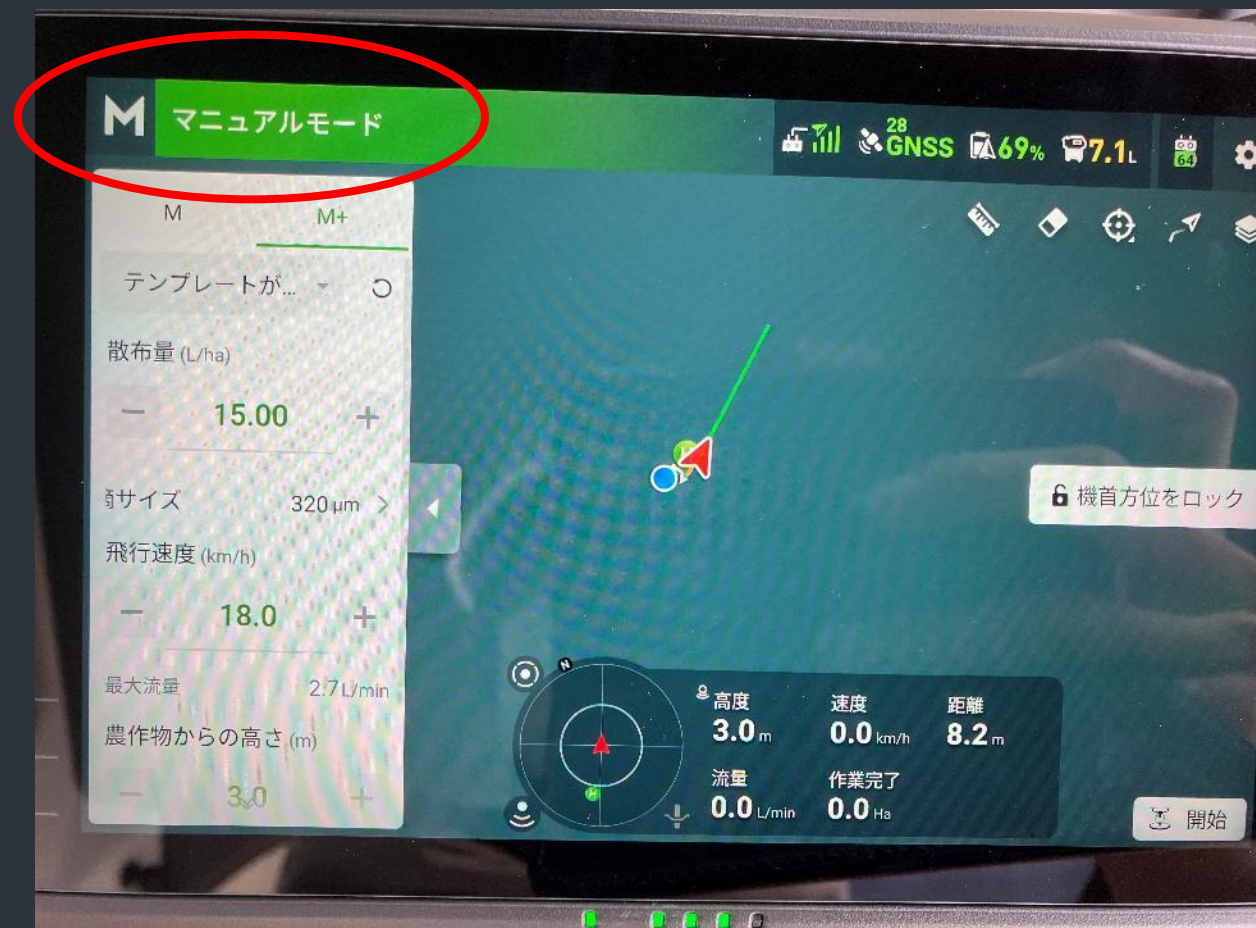
「T25が接続されました」と表示されていることを確認し、右下の「開始」をタップして操作画面に移行する。

- ・ マニュアル、M+操作の場合「手動」をタップ
- ・ A-Bルート、自動飛行タスクを使う場合「経路」をタップ



4.機体の状態を確認する

GNSSを自動で取得し
ディスプレイ上部に「マニ
ュアルモード」と表示される。

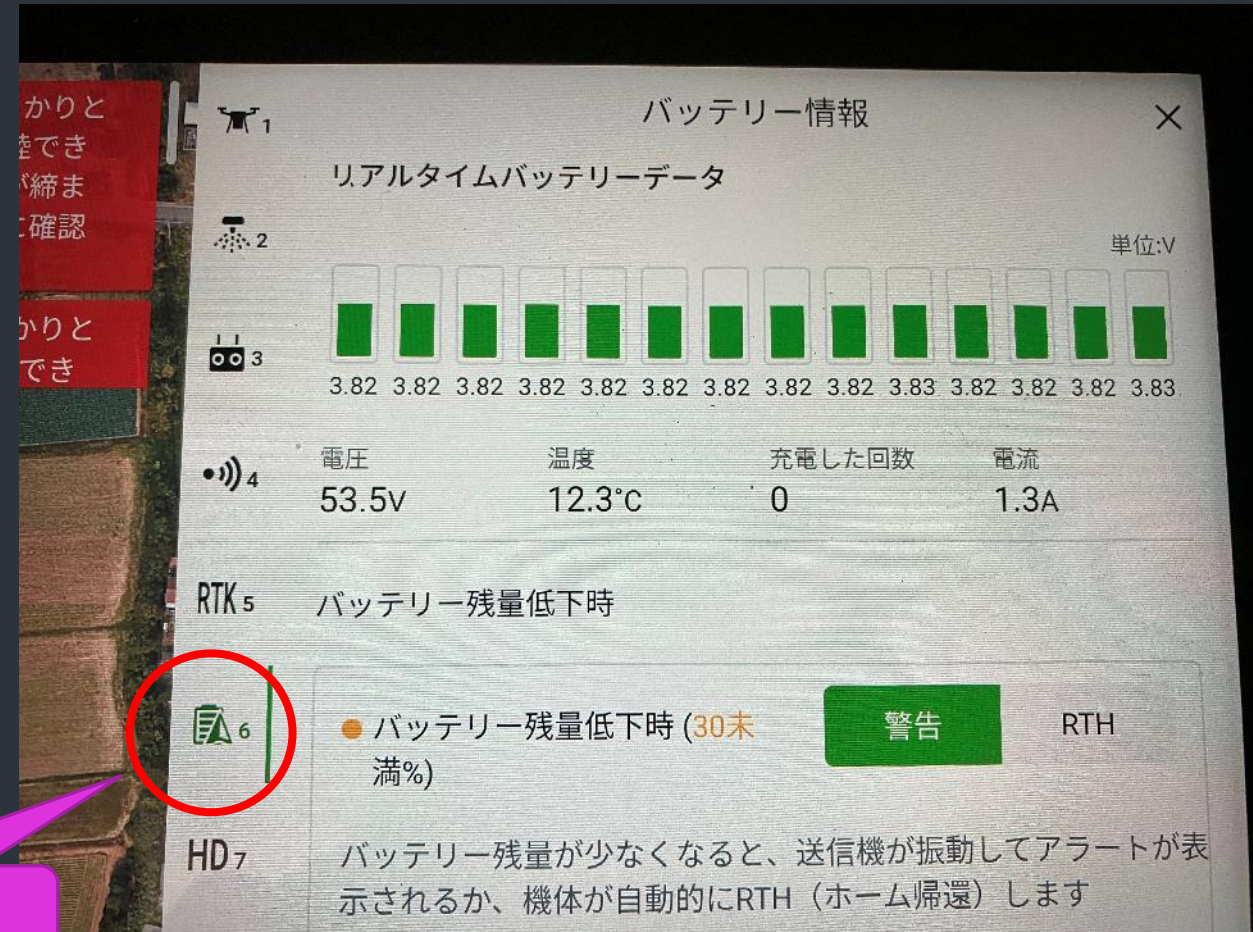


6. バッテリーの確認

⚙️ → 「バッテリー情報」をタップ。

14個の電圧セルが表示されるので、数値の差をチェックする。(正常時誤差~0.03程度)

電圧バランスに異常がある場合はそのバッテリーの使用を控える。



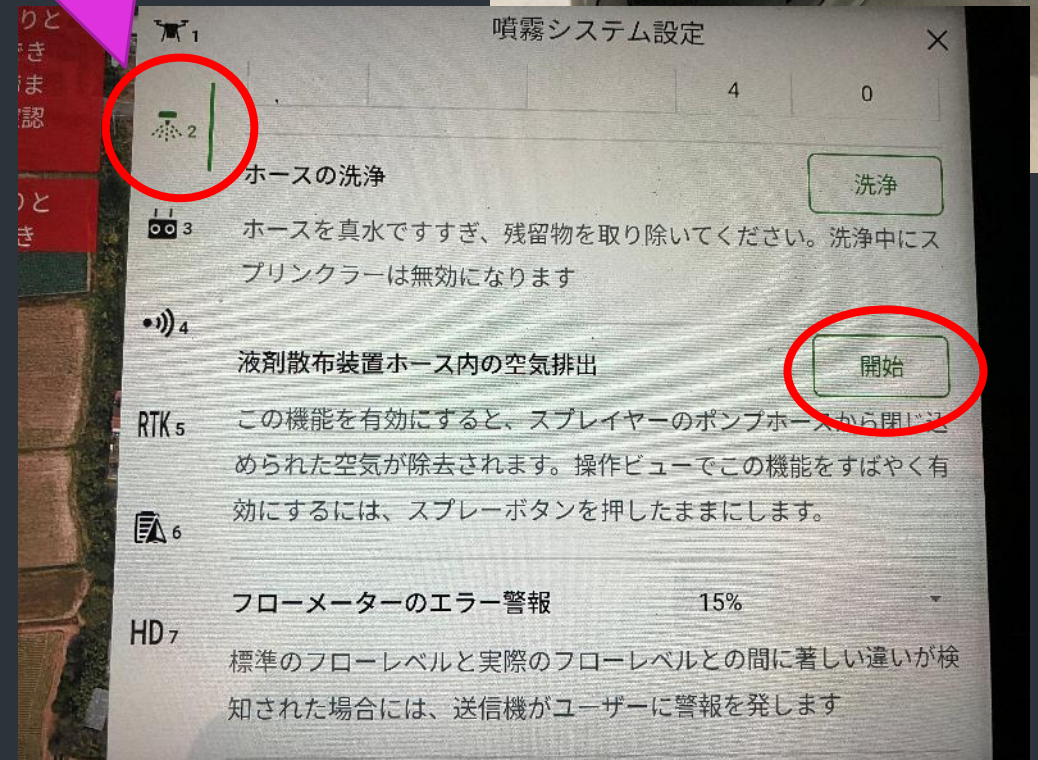
バッテリー情報

7.ポンプのエア抜き

薬剤をタンクに投入し、送信機左上の散布ボタンを長押し、または ⚙️ → 「噴霧システム設定」 → 「液剤散布装置ホース内の空気排出」の「開始」をタップ。
全てのノズルから液剤が吐出されたら完了。

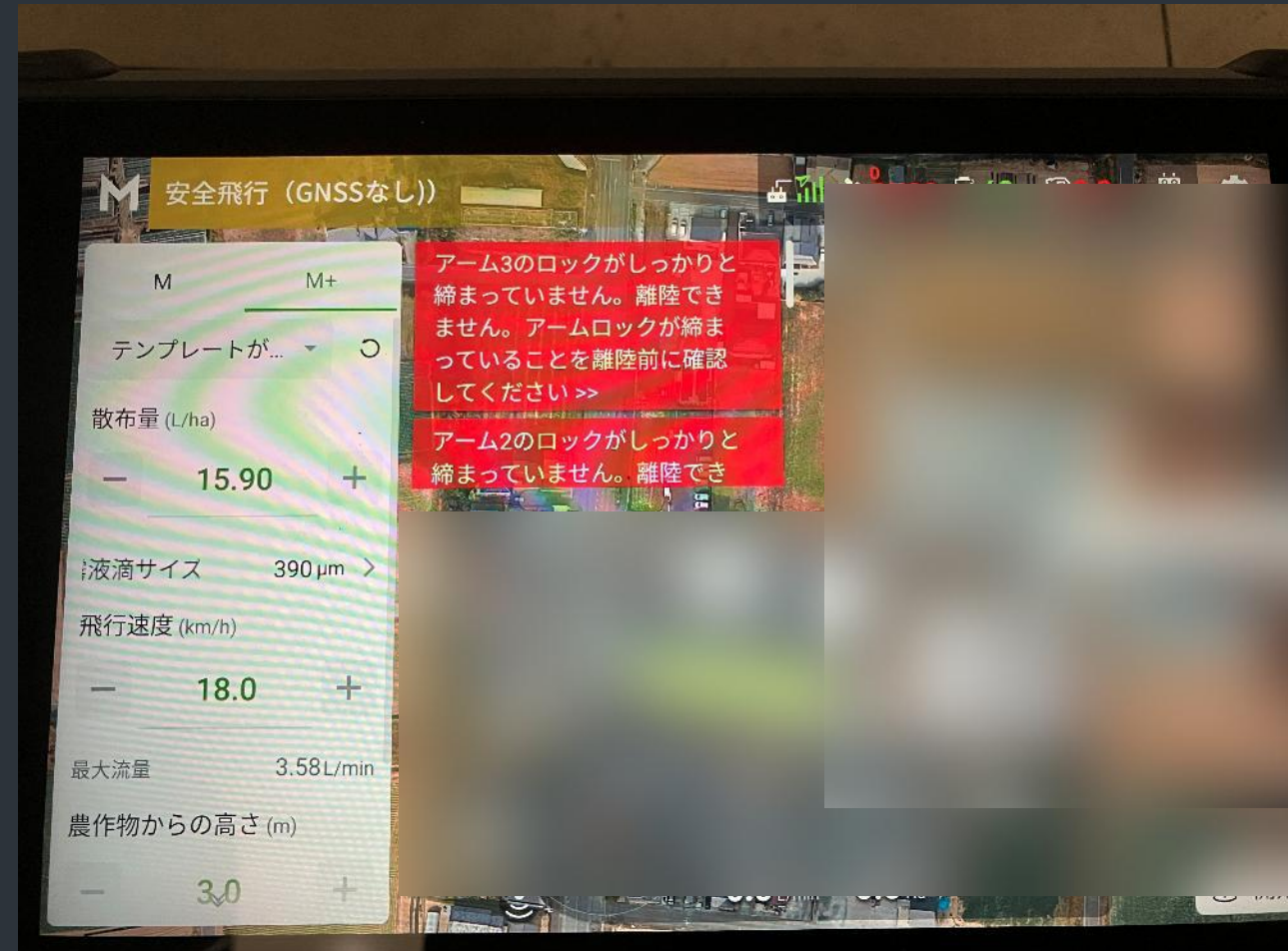
散布ボタン

噴霧システム設定



8. 飛行前最終確認

アームロックがすべて締まっているかももう一度確認する。
そうでない場合、
「アームnのロックがしっかりと締まっていません」と表示され、飛行できない。

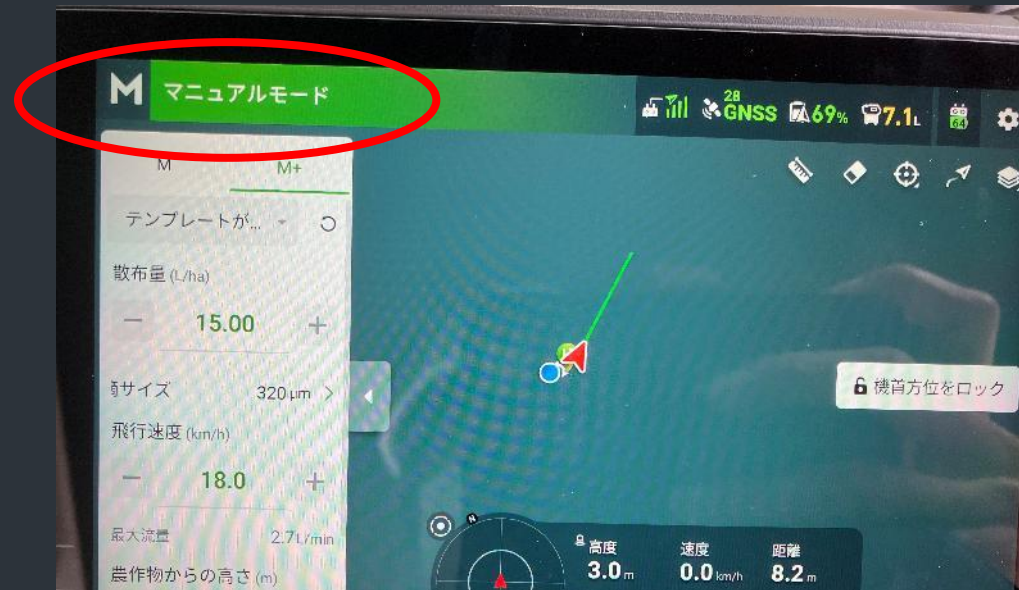


8. 飛行前最終確認

ステータスバーをタップすると、各システムの状態を確認できる。

各システムに異常がないかチェックする。異常がある場合、黄色や赤で表示され、タップすると更に詳細を確認できる。

アームロックが締まっていない、ポンプ内に空気が入っているなど



8.飛行前最終確認

人や車が近づいてきていないか、真上に低い電線がないかなど周りの状況を確認し、安全を確保してから飛行を開始する。

必ず機体の後ろに立って操縦する。対面になっていると前後左右の操作が反転するため、操作を誤り事故を引き起こす原因となる。



9. 離陸する

モーターを始動させるには、
八の字①または逆八の字②に
両スティックを倒す。

モーターが回転し始めたら一
度離し、その後右スティック
を上③にゆっくり倒して機体
を上昇させる。

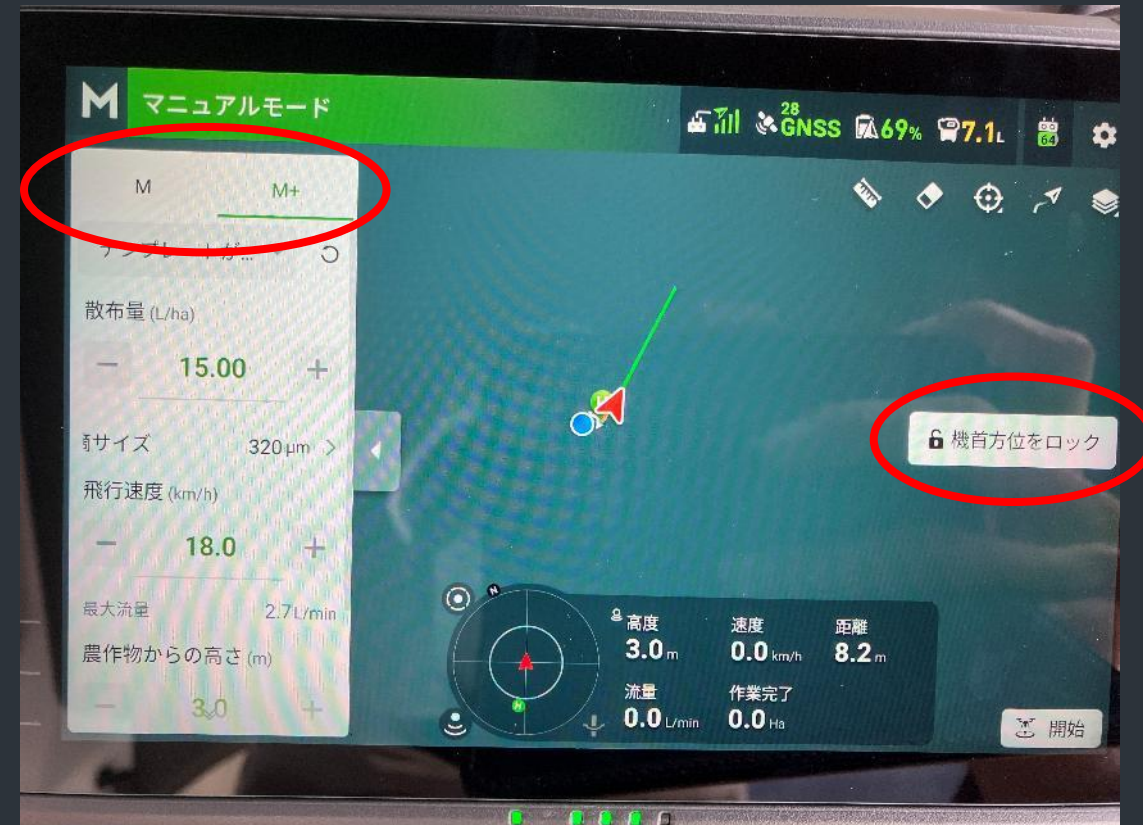


10. 散布開始(M+モード)

- ▶ **マニュアル(M)**：噴霧量、液滴サイズ、飛行速度を制御できるモード。散布ボタンで散布を開始または停止する。
- ▶ **マニュアルプラス(M+)**：噴霧量、飛行速度、高度、ルート間隔を設定できるモード。画面上の⇐⇒をタップ、またはボタンに割り当てることで散布幅として設定した距離で左右に移動する。前方、後方に加速している場合は自動で噴霧を行い、停止、または横向きに飛行している場合噴霧を行わない。

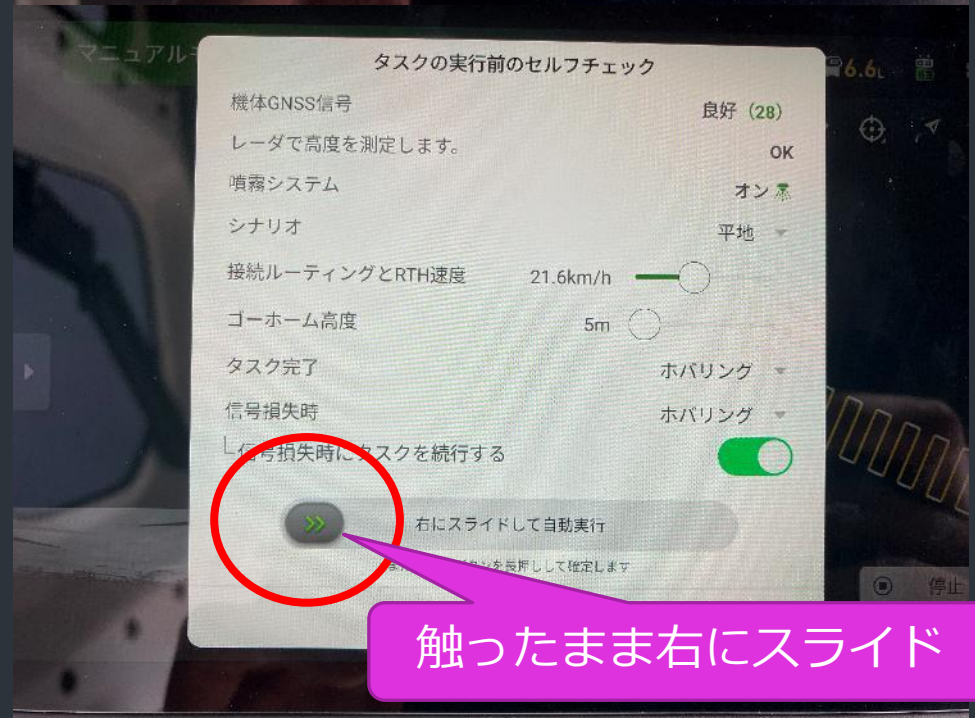
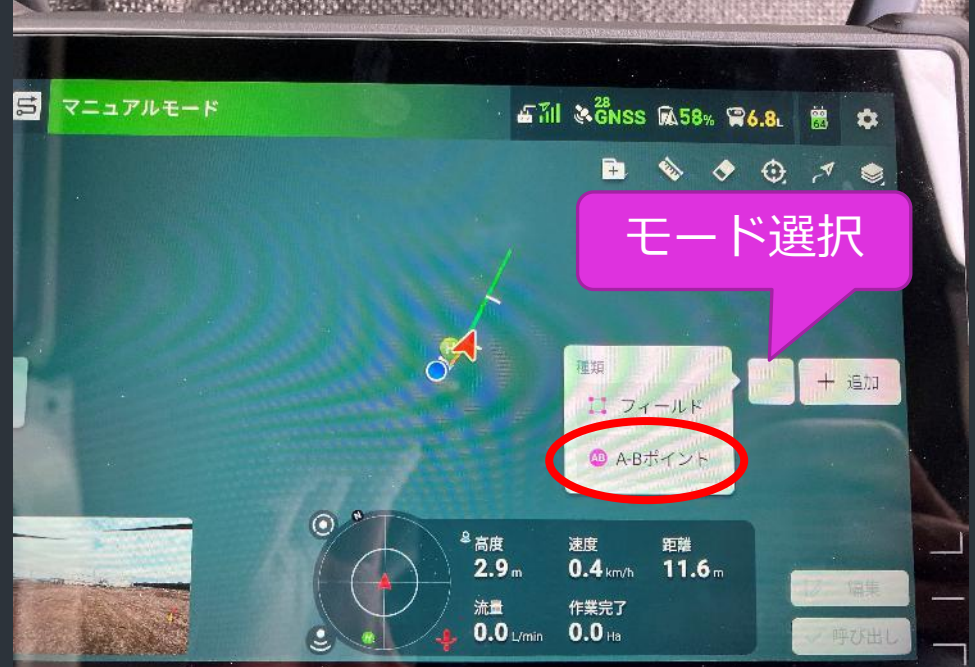
10. 散布開始(M+モード)

- ▶画面左側のタスク設定上部から切り替え
- ▶ha当たり散布量、液滴サイズ、飛行速度、飛行高度、散布幅を設定する
- ▶画面右側「機首方位をロック」をタップすると旋回しなくなる(設定するかしないかは自由)
- ▶ディスプレイ右下の「開始」をタップ



10. 散布開始(A-Bルート)

- ▶ **A-Bルート(AB)** : ポイントA、Bの接続線を基準にした飛行ルートに沿って自動散布するモード。散布パラメーターは事前に設定できる。散布面積が広大かつ長方形である場合、A-Bルート作業モードの使用を推奨。
- ▶ 操作モード「経路」、散布の種類「A-Bポイント」を選択
- ▶ Aポイント、Bポイントそれぞれ任意の位置で設定する
- ▶ 移動方向、散布パラメーターの設定を行い、右下「開始」をタップ
- ▶ セルフチェックでエラーがないことを確認し、スライドして作業開始



11. 散布終了後(液剤)

- ▶ タンクの中に残った薬剤を排出し、タンク内部、注入口と排出口のフィルターを流水とブラシで洗浄する。排出した薬剤は道路や水路に流さず、容器で受けて適切に処理する。
- ▶ 排出口を閉めてタンクに水を入れ、吐出を開始する。ポンプとホース内の薬剤を排出する。
- ▶ 固く絞った雑巾でプロペラ、ボディに付着した薬剤を拭く。プロペラは裏側にも付着しているので、しっかり両面拭くようにする。

バッテリーを挿した状態なら直接水をかけて洗うことも可能(必ず電源は切る、高圧はNG)

11. 粒剤散布装置取り付け

左側面にある散布装置のコネクターと、両側面のホースを外す。
全て手で外すことができる。

上から散布装置を取り外す。

散布装置コネクター



11. 粒剤散布装置取り付け

動力部をタンクから外し、
両脚の間に置き、タンクを
上から差し込む



動力部とタンクをつなげる



コネクタを接続する



12. テンプレートについて

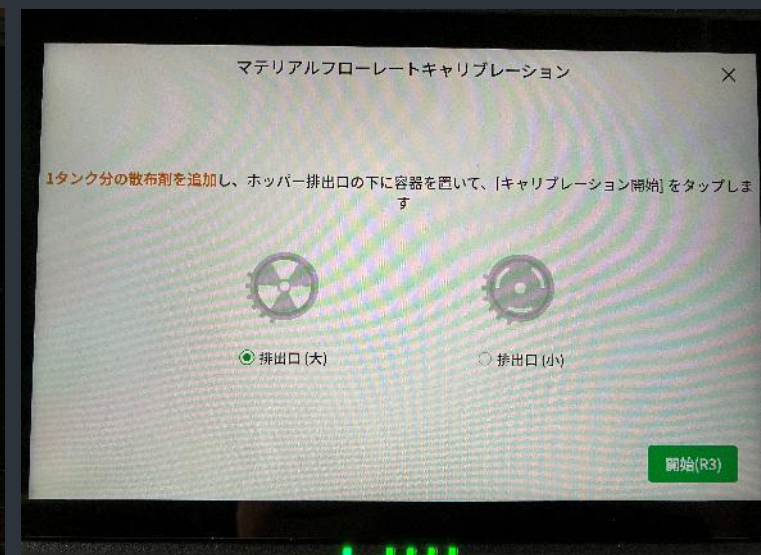
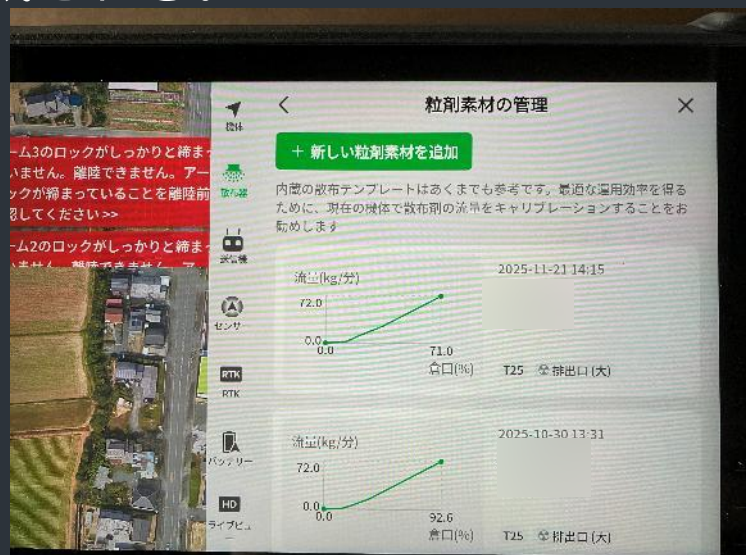
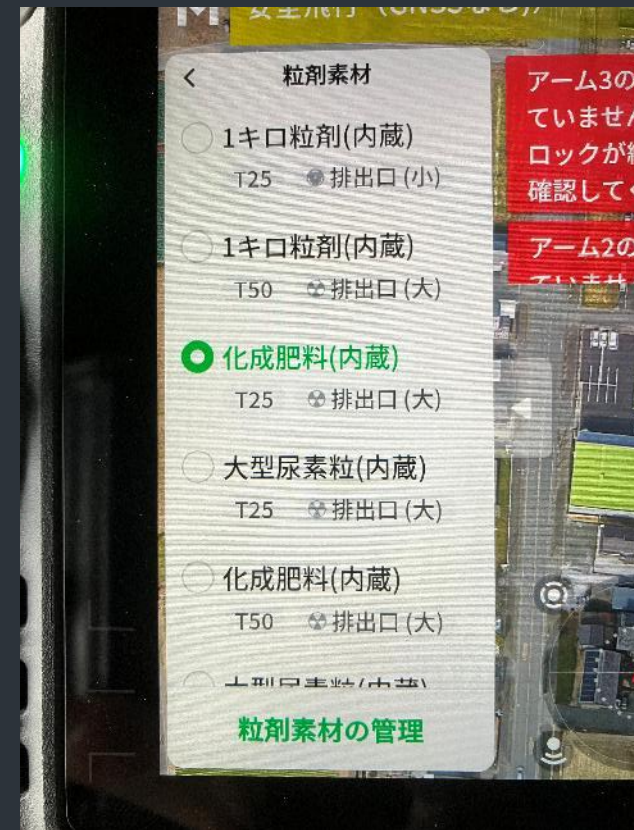
M+、A-Bルート、自動航行で粒剤散布する際は、必ずテンプレートを選択する必要がある。

既存のテンプレートでは満足できない場合や、他の粒剤を使用する場合には、新しいテンプレートを作成することができる。

⚙️ → 散布器 → 粒剤素材の管理 → 新しい粒剤素材を追加

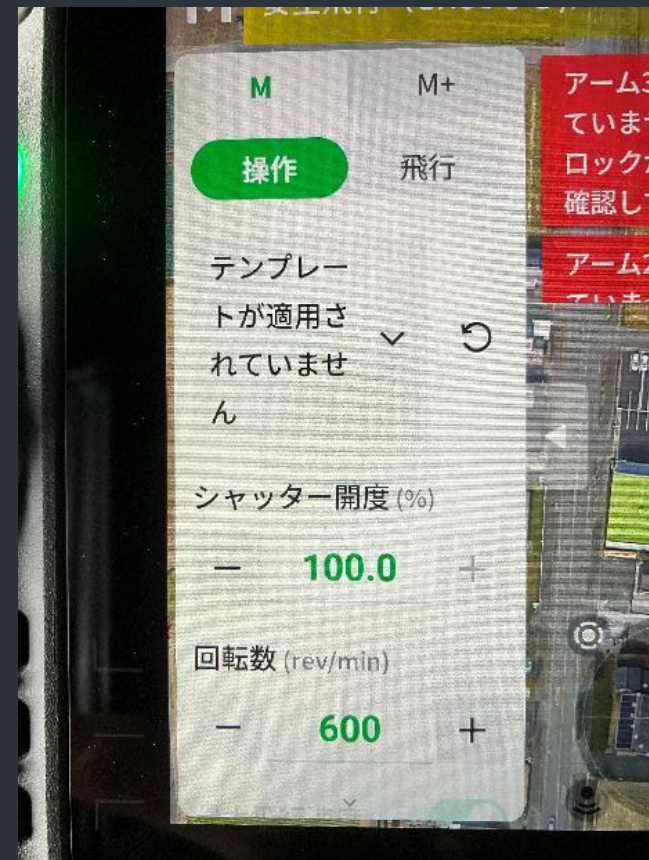
スピナーディスクを取り外し、ホッパー出口の下に袋や容器を置き、使用する粒剤をタンクに入れ、キャリブレーションを開始する。

成功すると新たなテンプレートが作成される。



13. 散布開始(粒剤散布)

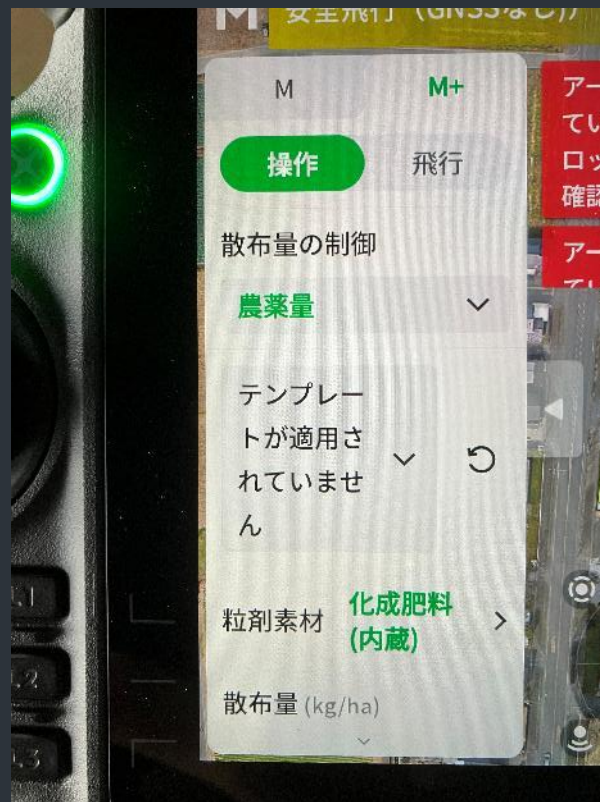
- ▶ マニュアル：シャッター開度、回転数、最大飛行速度を設定
- ▶ テンプレートを選ぶことはできない
- ▶ 散布ボタンで散布開始・停止を行う



13. 散布開始(粒剤散布)

- ➡ M+ : 散布したい粒剤素材をテンプレートから選択
散布量(kg/ha)、回転数、飛行速度、農作物からの高さ、散布幅を設定
「開始」を押してスタート

終了する場合は右下「停止」
をタップ



14. 散布終了後(粒剤)

- ▶ 動力部を外し、残った薬剤を排出する。排出した薬剤は容器で受けて適切に処理する。
- ▶ スピナーディスクを取り外し、内側に残った粉をブラシやコンプレッサーなどで掃除する。水は使用しない。
- ▶ プロペラ、ボディに付着した粉を拭く。プロペラの裏側にも付着しているので、しっかり両面拭くようにする。



15. バッテリー取扱い

- ▶ 炎天下直射日光のもとにさらさず、風通しのよい日陰や冷房の効いた車内に置くようにする。
- ▶ 使用後は高温になるため、充電する際はしばらく冷ましてから行う。
- ▶ 散布終了後は日の当たらない涼しい場所で保管する。付着した農薬は拭き取る。
- ▶ 冬など散布しない時期については、暖房が効き室温が氷点下を下回らない家の中に置いて保管する。
- ▶ 電圧バランスの異常がみられるバッテリーについては使用せず、販売店へ連絡する。